

メーターステア & ハーネスキット（スーパーマルチ TFT メーター用）取扱説明書

製品番号 05-06-0029

適応 DC12V バッテリー付き車



Here is english manual.

Can be view the pdf data of instruction English manual by scanning the TWO-DIMENSIONAL CODE.

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

◎当製品をお手入れする際には、ガソリンやシンナー等を使用しないで下さい。ラバーや樹脂部品の劣化の恐れがあります。

◎不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。

（説明書内で作業手袋未着用写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。）

◎当製品はスーパーマルチ TFT メーターを適応車両に装着する為の汎用ステアキットになります。

ステアキットに付属されるサブハーネスや小部品は DC12V 車 汎用品になります。（弊社製ミニレギュレーターと同時装着出来ません。）

◎当製品はスーパーマルチ TFT メーター以外のメーターには取り付け出来ません。ご注意下さい。

◎製品プログラムは予告無く変更・改良される場合があります。

同一の製品番号であっても製造時期により、動作や画面が多少異なる可能性があります。予めご了承下さい。

◎車両により、スプロケット交換時、メーターの速度表示設定を変更しても、ABS 等のエラーコードを消す事は出来ません。

～特 徴～

キットにある専用ステア、専用サブハーネスを使用する事で、スーパーマルチ TFT メーターを DC12V 車に装着する事が出来ます。

メーター固定部にはメーターへの振動を和らげるラバマウントを採用。

純正メーターから当製品に変更する事で、速度、オド / トリップメーターに加え、回転数、ギアポジション、温度計、バッテリー電圧表示やタイヤ外径補正、パワーテスト機能等、非常に多くの機能を搭載する事が出来ます。外部スイッチにより、表示の切り替えや機能の設定が行えます。

メーターにはスティック温度センサーが付属している為、SP 武川製マグネット付きドレンボルトを装着する事で、ドレンボルト部での温度測定が可能になります。

⚠ 注意 スーパーマルチ TFT メーター装着に関しての注意事項

H. I. D. や他社製 LED ヘッドライト、フォグランプ類との同時装着は出来ません。パラスト / インバーター（電圧変換装置）からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る物があり、製品故障や動作不良の原因になります。

⚠ 注意 ギアポジションの設定に関しての注意事項

ギアポジションの設定にはスピード信号とエンジン回転信号の両方がスーパーマルチ TFT メーターに入力される必要があります。

その為、“シャーンダイナモやフリーローラー” 又は“実走行” によるギア表示の学習が必要になります。

弊社では、安全性の面から“シャーンダイナモやフリーローラー” によるギア表示の学習を推奨します。

“実走行” で行う場合、市街地では信号機や交通量が多く危険な為、ギア表示の学習は行わないで下さい。

“実走行” で行う場合は見通しの良い場所を選択し、周囲の状況を確認した上で、注意して行って下さい。

⚠ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

⚠ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）

■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

■走行中はスイッチ操作を行わないで下さい。（事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

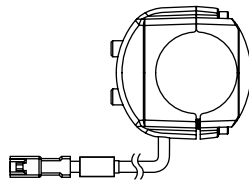
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

キット内容

①メーター本体



②メーター外部スイッチ



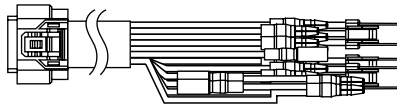
③ラバーストリップ



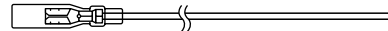
■スーパーマルチ TFT メーター構成部品

番号	部品名	数量	リペア品番	入数
1	メーター本体	1	—	—
2	メーター外部スイッチ	1	00-05-0380	1
3	ラバーストリップ	1		1

④サブハーネス



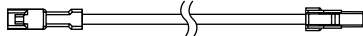
⑤ RPM コード A (2000mm)



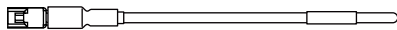
⑥ RPM コード B (550mm)



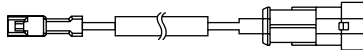
⑦温度センサー連結コード (900mm)



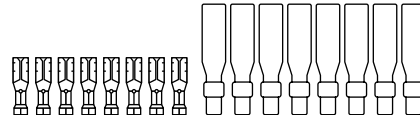
⑧スティック温度センサー (～250℃)



⑨ O₂ センサー連結コード (1200mm)



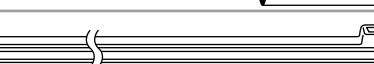
⑩メスギボシセット (φ 3.5)



⑪オスギボシセット (φ 3.5)



⑫熱収縮チューブ (φ 12x50)

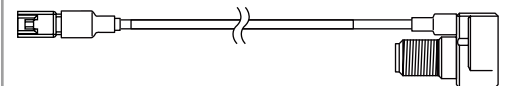


⑬結束バンド 300mm



JIS ケーブル式速度センサーセット 品番 05-06-0036

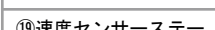
⑭ JIS ケーブル式速度センサー



⑮ソケットキャップスクリュー (M4x16)



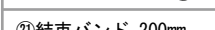
⑯スプリングワッシャー M4 用



⑰ナット M4



⑱速度センサーステー フラットタイプ

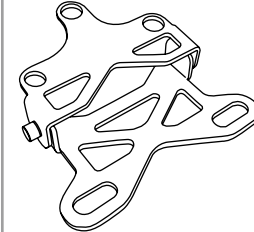


⑲速度センサーステー 90 ベンドタイプ

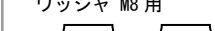


H1 ステーセット

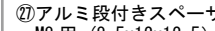
⑳ H1 ステー



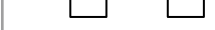
㉑ スタイリッシュワッシャー M8 用



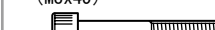
㉒ アルミ段付きスペーサー M8 用 (8.5x12x12.5)



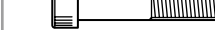
㉓ ソケットキャップスクリュー (M8x45)



㉔ ソケットキャップスクリュー (M6x40)



㉕ L レンチ (3mm)



㉖ クッションラバー (H1 ステーに組済み)



㉗ タッピングスクリュー (M4x12)



㉘ 大径ワッシャー M4 用 (5.3x13x1)



㉙ アルミ段付きスペーサー M6 用 (6.5x10x10)



㉚ アルミ段付きスペーサー M8 用 (8.5x12x12.5)

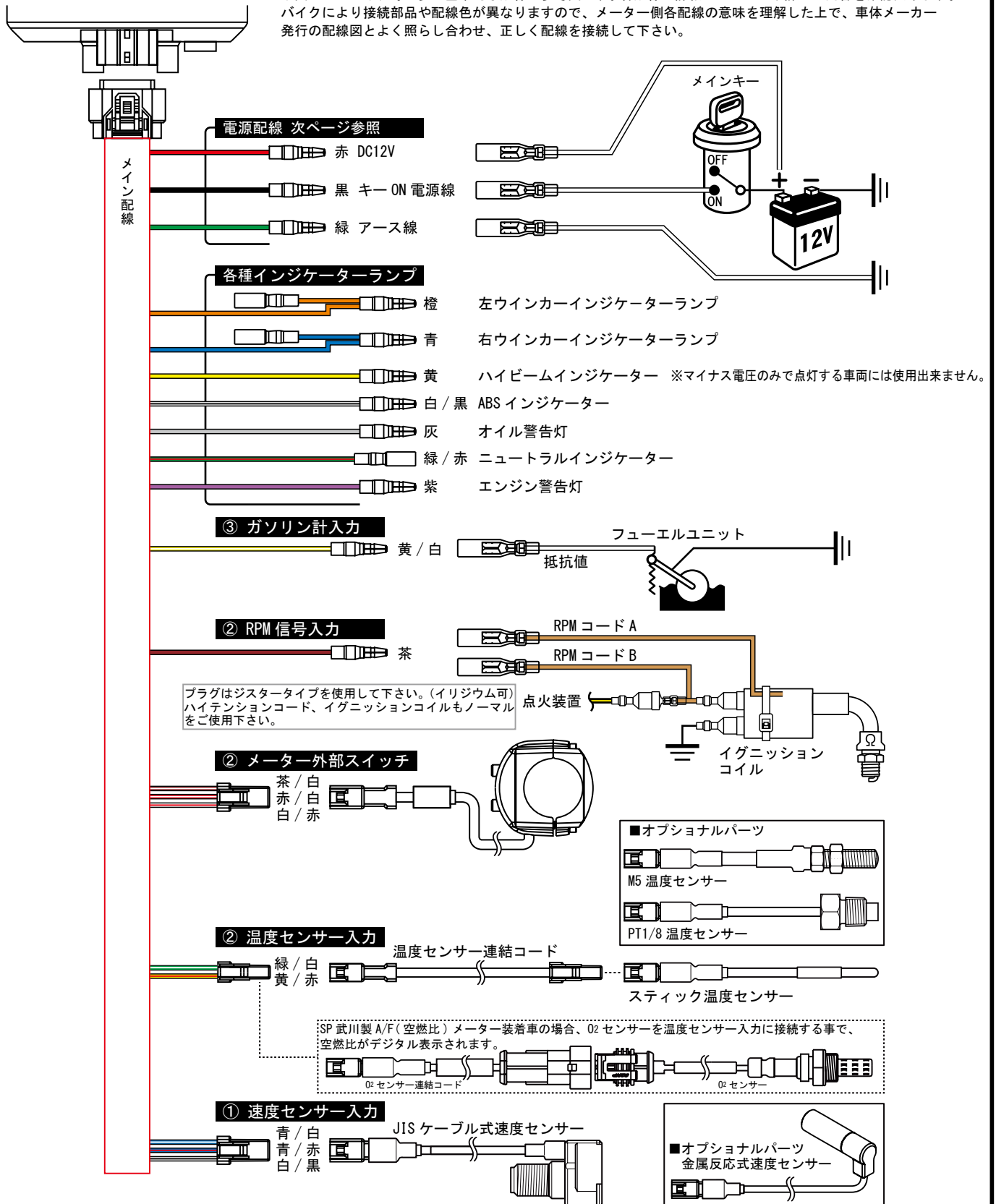


■ステーキット構成部品 (05-06-0029)

番号	部品名	数量	リペア品番	入数
4	サブハーネス	1	—	—
5	RPM コード A (2000mm)	1	00-05-0350 (1.4m)	1
6	RPM コード B (550mm) IG 接続用	1	090-00-0063	1
7	温度センサー連結コード 900mm	1	07-04-0556	1
8	スティック温度センサー (～250℃)	1	07-04-0555	1
9	O ₂ センサー連結コード (1200mm)	1	00-05-0201 (非防水 / 2.0m)	1
10	メスギボシセット (φ 3.5)	8	—	—
11	オスギボシセット (φ 3.5)	4	—	—
12	熱収縮チューブ (φ 12x50)	1	—	—
13	結束バンド 300mm	2	—	—
14	JIS ケーブル式速度センサー	1	05-06-0036	1
15	ソケットキャップスクリュー (M4x16)	2		2
16	スプリングワッシャー M4 用	2		2
17	ナット M4	2		2
18	大径ワッシャー M6 用 (6x16x1.0)	1		1
19	速度センサーステー フラットタイプ	1		1
20	速度センサーステー 90 ベンドタイプ	1		1
21	結束バンド 200mm	2	00-05-0379	2
22	クッションラバー	3		3
23	タッピングスクリュー (M4x12)	3		3
24	大径ワッシャー M4 用 (5.3x13x1)	3		3
25	H1 ステー	1		1
26	スタイリッシュワッシャー M8 用	2		2
27	アルミ段付きスペーサー M8 用 (8.5x12x12.5)	2		2
28	ソケットキャップスクリュー (M8x45)	2	00-05-0378	2
29	スタイリッシュワッシャー M6 用	2		2
30	アルミ段付きスペーサー M6 用 (6.5x10x10)	2		2
31	ソケットキャップスクリュー (M6x40)	2		2
32	L レンチ (3mm)	1		1

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。
※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。使用につきましては問題ございません。予めご了承下さい。
※⑨ O₂ センサー連結コードのリペア品は、キット付属の物と異なり、非防水の仕様になります。ご了承下さい。

下図はミニバイク等で多い基本的な配線の参考図です。各配線の詳細ページでより詳しい内容を確認出来ます。バイクにより接続部品や配線色が異なりますので、メーター側各配線の意味を理解した上で、車体メーカー発行の配線図とよく照らし合わせ、正しく配線を接続して下さい。



〔メーター本体〕

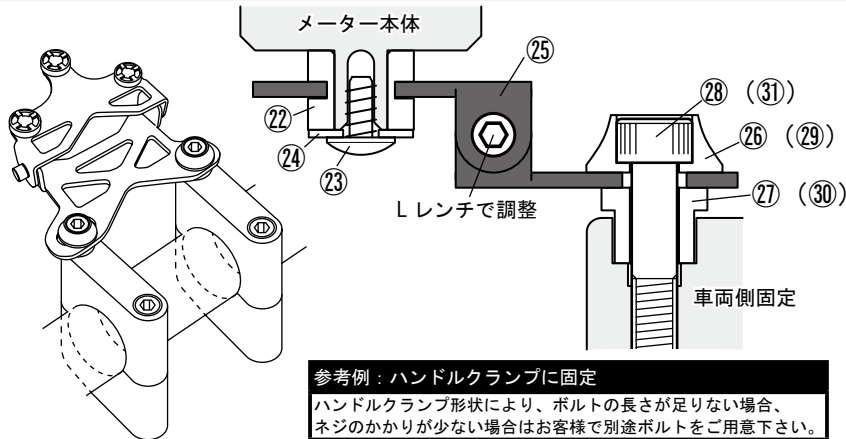
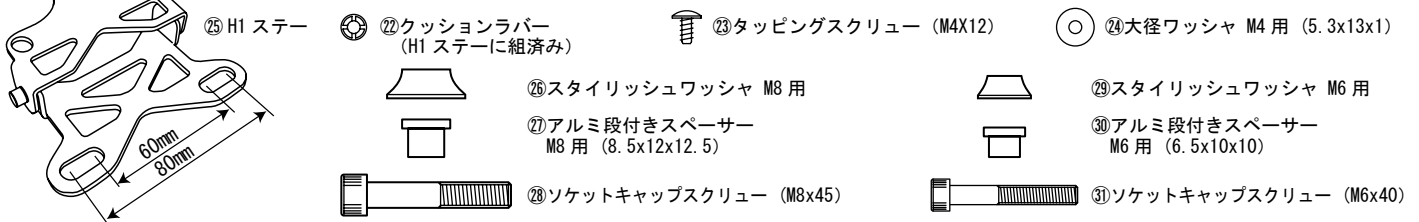
当製品はバッテリーのDC12V(直流)を電源とする事が基本ですが、不安定になりがちなミニバイクの電源に対応する為、過電圧に対して高い耐久性を持つ回路設計としております。又、アイドリング時などの作動安定性を高める為に、最低作動電圧を低めに設定しています。メーター本体のメイン電圧範囲はDC8V～24Vですが、最低作動電圧付近では液晶文字濃度やバックライトが薄くなります。内蔵電池を必要としないフラッシュメモリー式ですので長時間、電源OFFでも各種記録は維持します。配線色及びギボシはホンダ車向け小型サイズ(φ3.5)になっております。車体によって配線を加工する必要があります。

〔ヘッドライトOFFでの走行禁止/保安部品を外したレース用車両〕

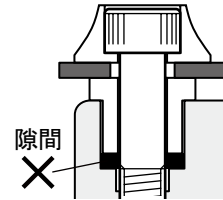
ヘッドライト常時点灯車を安易な改造(断線させるだけ)によりライトOFF状態にして走行すると消費されない電力が車体全体の電圧を上げてしまいます。そのまま走行を続けると、過充電によるバッテリーの劣化や過度の負担により純正レギュレーターが故障してしまう可能性があります。ノーマルよりも高いエンジン回転数で走行するエンジン改造車では、悪影響がより強くなります。ヘッドライトが球切れしてしまった場合は、直ちに走行を止めるか、どうしても走行する必要がある場合はハイビームに切り替えて(光軸も調整して)下さい。この時、なるべく低回転で走行して下さいレース用車両ですべての保安部品を外すには、専門的な知識と代替部品や追加部品が必要です。

メーターステー (H1 ステー) の取り付け方法と注意事項

付属の H1 ステー SET はお客様で取り付け場所、固定方法を考え使用して頂くステーです。バイクに合わせて、お客様で工夫しご使用下さい。



注意

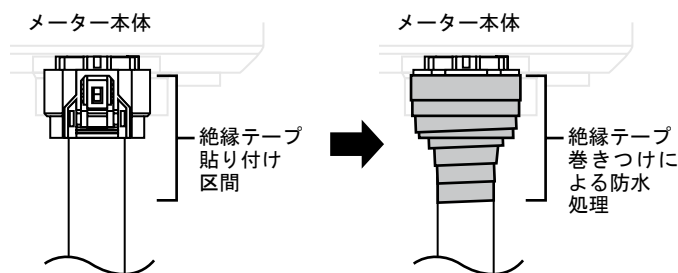


図のようにカラー下部に隙間が出来てないか確認して下さい。隙間があるとボルト緩みの原因になりますのでご注意下さい。

ハンドルパイプクランプ等と共締めで取り付ける場合、誤った固定で走行すると大変危険ですので十分注意して下さい。お客様の取り付け不良が原因による、製品の故障及び破損、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

メーター本体への接続作業

写真、イラストを参考に①メーター本体と④サブハーネスを接続し、絶縁テープを巻きます。



注意

絶縁テープでテーピングが行われていない場合コード内に水が入り、メーターの故障に繋がる恐れがあります。

ヘッドライトケース、ヘッドライトユニットを逆手順で取り付けます。

注意

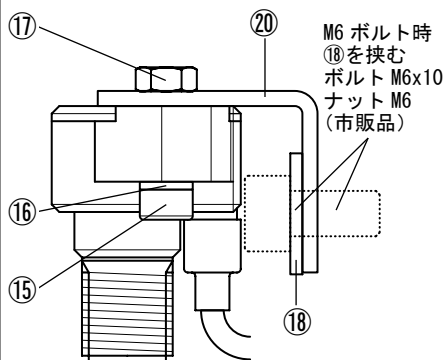
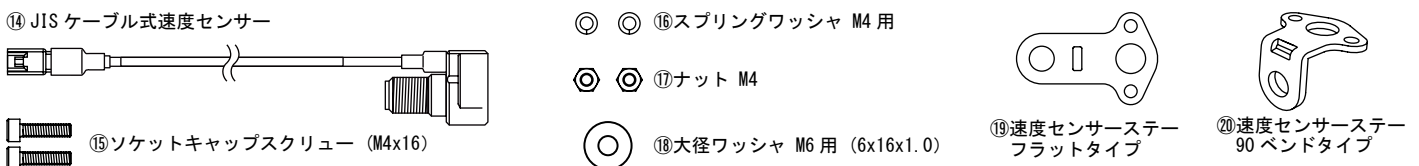
ヘッドライトケースで、メーターハーネスを挟み込まない様に注意して下さい。断線や接触不良の原因になります。

外部スイッチの取り付け作業

メーターハーネスへ接続した外部スイッチをハンドルパイプにラバーストリップを巻き付け取り付けます。※外部スイッチは、防水仕様ですが、高圧洗浄機等で直接当てないで下さい。

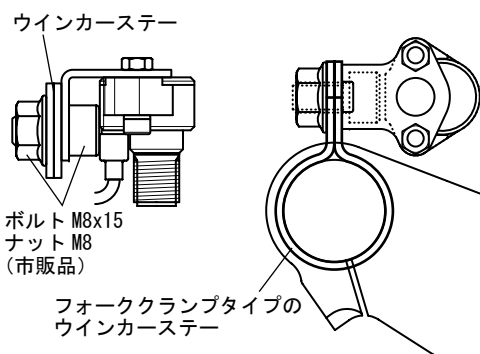
JIS ケーブル式速度センサー取り付け方法と注意事項

メーター本体と速度センサーは別体になっています。汎用でご利用頂ける速度センサーステーを 2 種類付属しています。

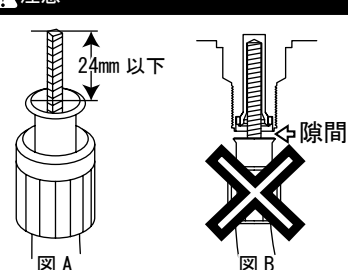


参考例：フロントフォークに固定

速度センサーを“②速度センサーステー 90 ベンドタイプ”のステーと、別売のウインカーステーと組み合わせてフロントフォークにクランプする例



注意



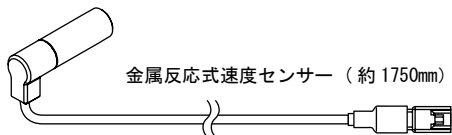
当製品は JIS 規格に基いたケーブル差込部形状を採用しておりますが、輸入車及び一部国産車ではケーブル加工が必要な場合があります。ケーブルアウターからのケーブルの飛び出し量を測って下さい (図 A)。24mm を超える場合はその部分をカットして下さい。

図 B のように底づきし、上に押し上げた状態で使用されますと回転部が激しく磨耗してしまい、正確な速度を認識出来なくなってしまいます。

■金属反応式速度センサーセット（約 1750mm） 品番 05-06-0035

取り付けるバイクに合わせて、付属のブラケットの加工や自作を行い、金属反応式温度センサーをセットして下さい。

金属反応式速度センサーセット構成内容



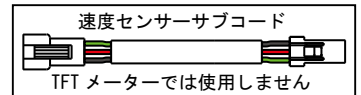
金属反応式速度センサー（約 1750mm）



速度センサー
ブラケット（M8）



速度センサー
ブラケット（M10）



速度センサーサブコード
TFT メーターでは使用しません
ソケットセットスクリュー
(M5x5xP0.8)



付属の 6 角穴付き止めネジは、速度センサーブラケットに差し込み、金属反応式温度センサーの固定に使用します。センサーの金属部の範囲で止めネジを使用して下さい。センサーの取り付けはフロントホイール側、リアホイール側のどちらでも使用可能です。適切な場所をご検討下さい。付属の M8、M10 速度センサーブラケットを、他の部品の固定ボルトと共締めする場合は、お客様でブラケットの厚み分、5mm 長いボルトをご用意下さい。可動部ではコードに十分なたるみを持たせ、両サイドをタイラップ等でしっかり固定し、可動部の動きでコードの付け根（センサー側、コネクター側）に負担がかからない様にして下さい。

警告 アクスルシャフトとの共締めは、締め付けトルクに対するブラケットの強度不足が考えられますので、弊社では推奨致しません。

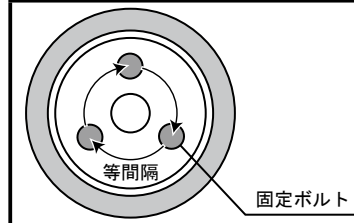
■センサーの取付け例（下詳細図）

- ①信号間隔は必ず等間隔になるようにして下さい。変則間隔では正確な速度を表示出来ません。
- ② 6 角穴付きボルトで信号を拾う場合、ボルトの中心でセットして下さい。

■アドバイス

もし、丁度良い所にセンサー反応部が無い場合は、ワッシャの様な小さな鉄の破片をエポキシボンド等で貼り付け、反応部を作成して下さい。

金属反応式速度センサーにある LED ランプの点灯・無点灯により、金属反応をご確認頂き、セット位置の微調整を行って下さい。※点灯・無点灯の数は信号数ではありません。信号数はボルト数を入力して下さい。



温度センサー入力について

温度センサー連結コード、温度センサーの接続

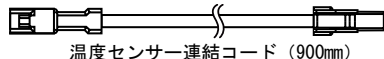
- 温度計の測定範囲は 0 ~ 250℃です。
- 油温計測を行うには、別途オプションパーツのアダプター類が必要です。
- 弊社カタログにてオプションパーツをご覧下さい。
- 温度センサーを適当な位置に固定し、外気温計としての使用も可能です。

ステアリング作動による干渉や走行振動による擦れ、エンジン高温部への接触などで損傷、断線しないように配線テープやタイラップを使いフレームや車体ハーネスに配線を固定して下さい。

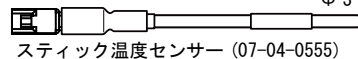
センサー未接続（配線が断線）時は数値が [- - - , -℃] となります。



温度センサー入力

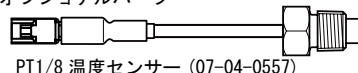


温度センサー連結コード（900mm）

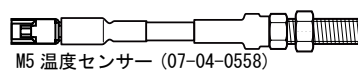


スティック温度センサー（07-04-0555）

オプションパーツ



PT1/8 温度センサー（07-04-0557）



M5 温度センサー（07-04-0558）

別売オプションパーツのドレンボルトやアダプターに付属の止めネジは、スティック温度センサーを固定する際に使用します。脱落防止の為に止めネジにネジロック剤を少量付け、センサーに軽く線傷が付く程度で締め込みを止めて下さい。

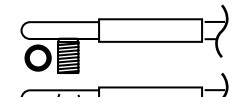
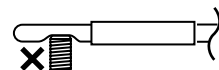
破損するとコードの断線又は短絡（ショート）と同じ状態になります。

断線時の表示：[- - - , -℃]

短絡時の表示：[250. 0℃]

注意 止めネジの締めすぎでセンサー部が大きく変形すると、内部の電子部品が損傷してしまう可能性があります。

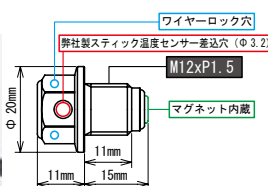
6 角穴付き止めネジ M3x5



締め込みは、() 状の軽い線傷が付く程度まで

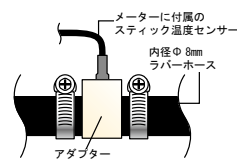
温度計オプションパーツ

■マグネット付きドレンボルト（M12xP1.5）



エンジンオイルに混ざった鉄粉をドレンボルトに設けたマグネットが強力な磁力で吸着します。これにより、オイル内にある鉄粉が減少し、エンジンオイル本来の安定した潤滑性能を発揮する事が可能となります。更に弊社製アルミドレンボルトには、脱落防止としてワイヤーロックが行えるワイヤーロック穴と弊社製スティック温度センサー差込穴を備えています。スティック温度センサーをドレンボルトに取り付け、弊社製スーパーマルチ TFT メーターに接続する事でドレンボルト部での温度を計測する事が出来ます。ドレンボルト本体はアルミ材を精巧に削り出し、表面にカラーアルマイトを施しています。カラーはシルバー、ブラック、ブルー、レッドの 4 種類。弊社ロゴレーザーマーキング入り、マグネットには磁力が強力なネオジムマグネットを採用。■マグネットは“カシメ”でしっかりと固定■純正ドレンボルトと交換してご使用頂けます。

■油温計用アダプター



ラバーホース（内径φ 8mm）採用のオイルクーラーキット装着車を対象とするスティック温度センサー差込穴付きアダプターです。オイル取り出し口とオイルクーラーをつなぐ、ラバーホースの間にこのアダプターを装着する事で、オイルライン（アダプター部）での温度を計測する事が出来ます。温度センサーはオイルと非接触の為、アダプター部での温度となりますが、オイル温度の目安としてご覧頂けます。当製品に付属のスティック温度センサーを接続する事で、温度をメーター内の液晶画面でご確認頂けます。

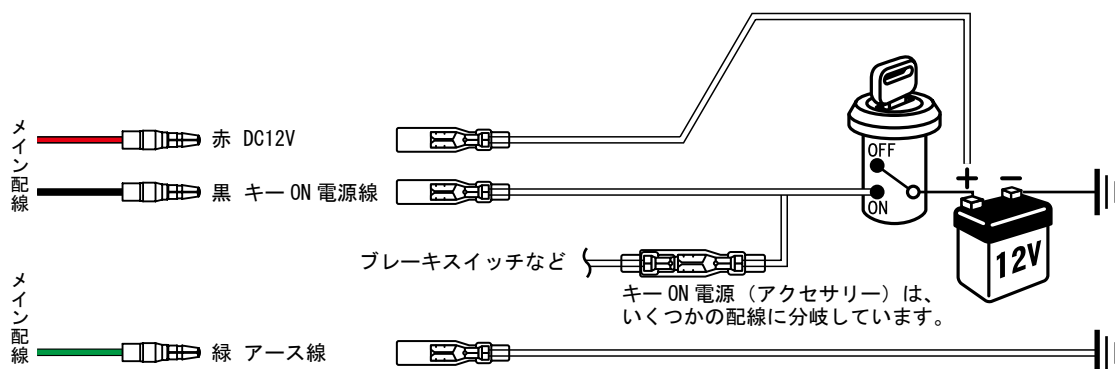
製品名	品番
ドレンボルト（マグネット付き）：M12 P1.5	シルバー 02-09-0022 ブルー 02-09-0024 ブラック 02-09-0023 レッド 02-09-0025
M12 シーリングワッシャ	00-00-0140
内径φ 8mm オイルクーラーホースアダプター	07-04-0521

電源配線

■下図はミニバイク等で多い基本的な配線の参考図です。バイクにより接続部品や配線色が異なります。
メーター側各配線の意味を理解した上で、車体メーカー発行の配線図とよく照らし合わせ、正しく配線を接続して下さい。

■ DC12V 電源に接続

メイン配線の黒コードをキー ON 時に DC12V がかかる配線へ接続して下さい。



キー ON（エンジン停止状態）でメーターの電源が入ります。

■ 代表配線色 ※車種によって配線色の異なる場合があります。

メーカー名	キー ON 電源色	アース線色
HONDA	黒 赤 / 黒	緑
YAMAHA	茶	黒
SUZUKI	橙	黒 / 白
KAWASAKI	茶	黒 / 黄

※ミニレギュレーターと本メーターは、同時装着出来ません。

[DC 電源とは]

＝直流電源。キー ON 時（エンジン停止状態）からエンジン稼働中まで比較的電圧が安定しているバッテリー電源です。
車体使用差はありますが一般的なテスターで電圧を測定すると、キー ON 時 12.5 ～ 13V 前後、走行中は 12.5 ～ 14.5V 前後となります。
※バッテリー付き車でも、エンジン始動に伴い電圧の発生する配線（ヘッドライトや尾灯に多い）は AC 電源となります。

[接続上の注意]

キー ON だけで電源が入らない場合はバッテリーの劣化もしくは誤配線が原因です。完全に劣化しているバッテリーを使うと、高回転時、逆に過電圧になるばかりか、過度の負担により純正レギュレーターが故障してしまう可能性があります。

[アドバイス]

エンジンを停止状態でブレーキランプを点け、さらにウインカーを点けて下さい。点滅速度が異常であればバッテリーが弱っています。

インジケータランプ配線

バイクにより接続部品や配線色が異なります。
メーター側各配線の意味を理解した上で、車体メーカー発行の配線図とよく照らし合わせ、正しく配線を接続して下さい。

■車種によっては回路の仕組み上利用出来ない場合、配線方法が異なる可能性があります。



■警告灯 赤 LED（マイナス接続で点灯）水温警告灯などにご使用下さい。



■エンジン警告灯 黄 LED（マイナス接続で点灯）エンジンチェックライトや FI 警告灯などにご使用下さい。



■ABS ランプ 黄 LED（マイナス接続で点灯）ABS 車両にご使用下さい。



■警告灯 赤 LED（マイナス接続で点灯）警告する機能を指定する事でご使用頂けます。

インジケータランプ配線

下図はミニバイク等で多い基本的な配線の参考図です。バイクにより接続部品や配線色が異なります。

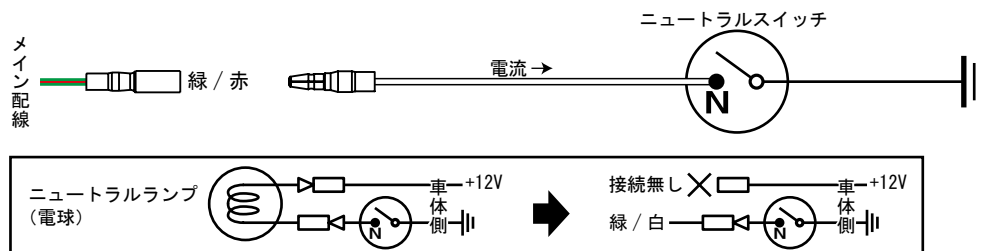
メーター側各配線の意味を理解した上で、車体メーカー発行の配線図とよく照らし合わせ、正しく配線を接続して下さい。

■下記はLEDを点灯させる為の参考例で、車種によっては回路の仕組み上利用出来ない場合、配線方法が異なる可能性があります。

N

■ニュートラルランプ 緑LED(マイナス接続で点灯)

緑 / 赤コードをニュートラル時、アースと導通する配線へ接続して下さい。



■代表配線色

※車種によって配線色の異なる場合があります。

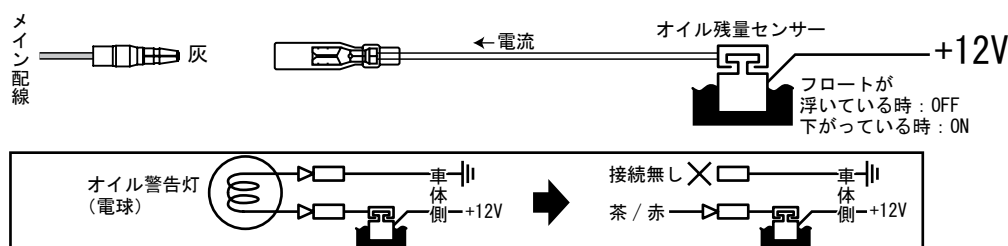
メーカー名	配線色
HONDA	若葉 / 赤
YAMAHA	空
SUZUKI	青 / 黒
KAWASAKI	若葉

W

■オイル警告灯 赤LED(プラス / マイナス接続どちらでも点灯)

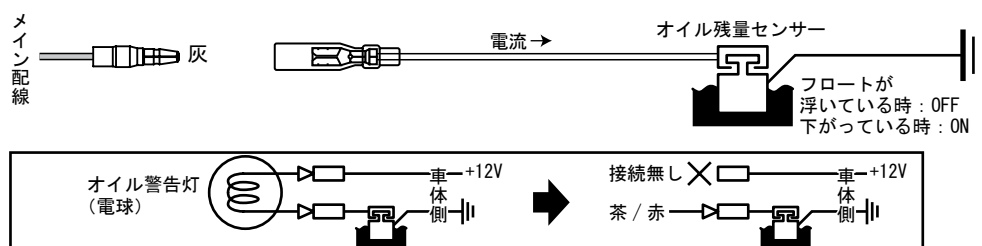
仕様上センサーからの信号を感知し、インジケータが点灯・消灯するまでに、多少タイムラグがあります。

■オイル警告灯としての利用例(プラス接続) YAMAHA 車2ストロークスクーターなど (YAMAHA 配線色: 灰)
灰コードを警告時 +12V と導通する配線へ接続して下さい。



■オイル警告灯としての利用例(マイナス接続) 多いのはこちらのタイプです。

灰コードを警告時アースと導通する配線へ接続して下さい。



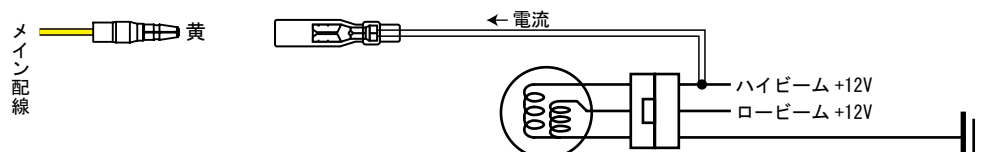
■代表配線色

※車種によって配線色の異なる場合があります。

メーカー名	配線色
HONDA	緑 / 赤
YAMAHA	黒 / 赤
SUZUKI	青 / 白
KAWASAKI	黒 / 赤

HD

■ハイビームインジケータ 青LED(プラス接続で点灯) 黄コードをハイビームの配線へ分岐接続して下さい。



※ヘッドライトをマイナス電圧のみで点灯している車両ではハイビームインジケータは使用出来ません。

使用出来ない事が確認出来ている車両は、モンキー (F) I やエイプ (F) I など小排気量のホンダ社製インジェクション車です。

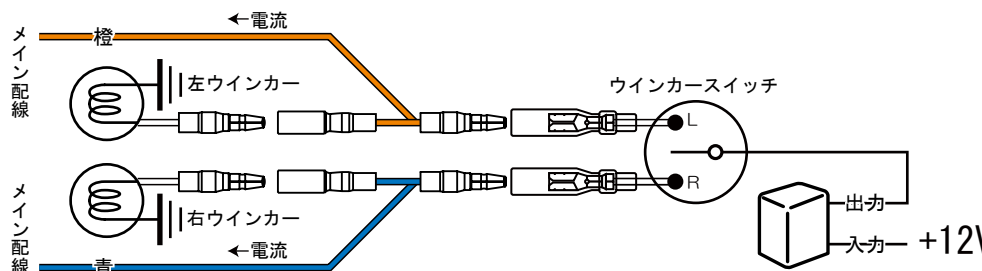
これら車両はジェネレーターのAC電力のプラス側をバッテリー充電用、マイナス側をヘッドライトや尾灯の電源用に分けています。

(エンジン始動に連動し、ヘッドライトが点灯します。)

W

■ウインカーインジケータ 緑LED(プラス接続で点灯)

各コードをウインカーのプラス線に割り込ませて下さい。橙コード: 左ウインカー 青コード: 右ウインカー



■ウインカーリレー 代表配線色

※車種によって配線色の異なる場合があります。

メーカー名	参考配線色
HONDA	橙 空
YAMAHA	濃茶 濃緑
SUZUKI	黒 若葉
KAWASAKI	緑 灰

(例、Ape バッテリーレス車 / XR100M 等)

※交流電源で点灯する車両は正常にインジケータが作動しない事があります。

各メーターの設定方法については、メーター本体の取扱説明書を参考にし、入力して下さい。

RPM 信号入力

1. 悪影響を及ぼす社外部品を使わないで下さい。

- スパーク力を強くすると、それに応じて点火ノイズも増大します。
イグニッションコイルやプラグコード、プラグキャップ、レーシングプラグ
(抵抗無しタイプ)、社外 CDI 等の改造は大きな悪影響を及ぼす事があります。
- 点火系部品の劣化も点火ノイズ増大に関係します。
特にプラグコード表面の劣化 & 水濡れには注意して下さい。

車両に合わせて接続方法、RPM 信号回数、種類を設定して下さい。

RPM 信号回数設定： クランクシャフト 1 回転あたりの信号回数の設定です。
設定値が合っていないと、きっちり半分、2 倍表示、3 倍・・・となります。

RPM 信号種類設定： 接続方法に合った、読み込みプログラムの種類を選択します。
切り替えにより、同じ接続方法でも正常動作する事があります。

2. 様子を確認しながら配線作業を行ってください。

信号を拾う方法は複数あります。
ご面倒でも、必ず推奨の方法から順に試して下さい。
タコメーターが正常に動く範囲で可能な限り悪影響の低い(信号電圧が低い、ノイズが
少ない)方法を見つけて下さい。

【A 接続】 【B 接続】 【C 接続】 RPM 信号入力 (3 種類)

※各接続方法の詳細につきましては、次ページ以降をご確認下さい。

【A 接続】 プラグコード表面 P24 参照

【B 接続】 イグニッションコイル 1 次側 P24 参照

【C 接続】 ピックアップパルスの読み込み P25 参照

バイクの点火方式により、適した接続方法が異なります。

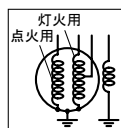
点火方式の見分け方

お客様のバイクの点火方式を知る事で、適した接続方法を見つけ易くなります。 ★：確実な条件
ポイント点火方式(当製品非対応)以外の点火方式は大きく 3 種類に分かれます。 △：異なる場合がある。

C. D. I. 点火方式 バッテリーレス車や小排気量キャブレター車に多い。

基本構造	ステーターに点火用コイルがあり、その電力を CDI に蓄電し点火を行う。
見分け方	★ CDI に DC12V 電源(キー ON)が接続されていない。 ★ ステーターに点火用コイルがある(右図)。 △ フライホールの突起は 1 つである事がほとんど。
接続方法	【A 接続】 【B 接続】 【C 接続】

12V モンキー(キャブ)系エンジン・エイブ(キャブ)系エンジン



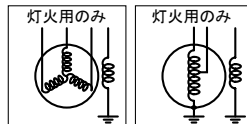
配線図の図形

点火用コイルについて
点火用コイルには 0.1mm 程度の極めて細い銅線が巻かれており、
外周は耐熱シートで保護されている事が多い。
0.8 ~ 1mm 程度の銅線が巻かれているのは灯火用コイル。

DC-C. D. I. 点火方式 高年式の小排気量キャブレター車や中型クラス以上のキャブレター車に多い。

基本構造	バッテリー電力を昇圧回路で高電圧化し、点火を行う。通称バッテリー点火。
見分け方	★ CDI に DC12V 電源が接続されている。 ★ ステーターに点火用コイルが無い(右図)。 △ フライホールの突起は 1 つである事がほとんど。
接続方法	【A 接続】 【B 接続】 【C 接続】

KSR110・シグナス X(キャブ)・アドレス V125GK7 以前 . etc

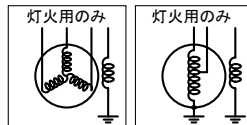


配線図の図形

フルトランジスタ点火方式 インジェクション車や中型クラス以上のキャブレター車に多い。

基本構造	イグニッションコイルへのバッテリー電力の通電をトランジスタが制御し、 点火を行う。
見分け方	★ イグニッションコイルに DC12V 電源が接続されている。 ★ ステーターに点火用コイルが無い(右図)。 △ フライホールの突起が複数ある事が多い。
接続方法	【B 接続】 【C 接続】

GROM・モンキー 125・GT125・モンキー FI・エイブ FI・シグナス X FI・アドレス V125GK9 以降 . etc



配線図の図形

SPECIAL PARTS
TAKEGAWA

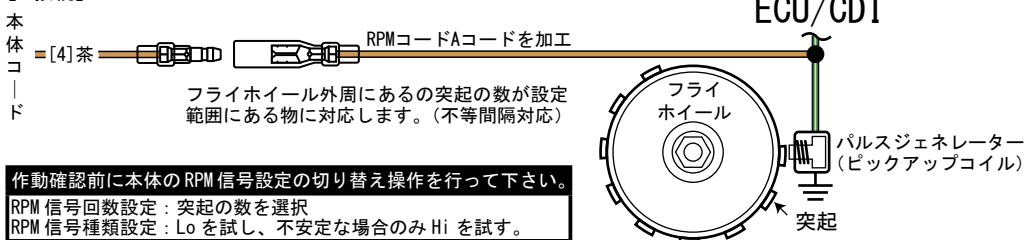
RPM 信号入力

RPM 信号入力 【C 接続】 配線方法

C. D. I. 点火方式 **DC-C. D. I. 点火方式** **フルトランジスタ点火方式** 点火方式の見分け方は前ページをご覧ください。

接続作業の前にフライホイール外周にある突起の数がメーター本体の設定範囲かどうか確認して下さい。
設定範囲：0.5、1、1.5、2、2.5、3、4、5、6、9、10、11、12、17、18、23、24

【C 接続】



RPM 信号回数設定の例



トラブルシューティング

- 指針の上下の動きは安定しているが、実際よりも少ない値や多い値を指す。
→ 「RPM 信号回数設定」が合っていない可能性があります。合っていないとちょうど 2 倍や半分の値を指します。
- 指針が全く上がらない。→ 「RPM 信号種類設定」が合っているかを確認して下さい。
- 指針が実際よりも多い値を指す。指針が振り切る。→ 「RPM 信号種類設定」が合っているかを確認して下さい。

参考情報 よくご質問頂く車両についての作動方法をご紹介します。※この情報は接続方法を限定するものではありません。

車種	エンジン仕様	点火	接続	メーター設定
12V モンキー	キャブレター	C. D. I.	共通	A 接続 (A-④ 3 巻き)
12V ゴリラ	キャブレター	C. D. I.		1 - Hi
エイブ 50/100	キャブレター	C. D. I.		B 接続 (黒 / 黄コード)
XR50/100 Motard	キャブレター	C. D. I.		1 - Hi

車種	エンジン仕様	点火	接続	メーター設定
モンキー (F1)	インジェクション	フルトランジスタ	共通	A 接続 不可
エイブ 50 (F1)	インジェクション	フルトランジスタ		
GROM ※1	インジェクション	フルトランジスタ		B 接続 (桃 / 青コード)
モンキー 125	インジェクション	フルトランジスタ		0.5 - Hi
CT125	インジェクション	フルトランジスタ		9 - Lo
エイブ 50 タイプ D	インジェクション	フルトランジスタ		

※1 GROM 専用のサブコードを使用する場合、パルス線がサブコード内にあり、設定は「2 - Hi」になります。
表内に明記の B 接続は、汎用サブコードを使用する場合に限ります。

車種	エンジン仕様	点火	接続	メーター設定
KSR110	キャブレター	DC-CDI	C 接続 (青 / 黄コード)	1 - Hi
シグナス X (F1)	インジェクション	フルトランジスタ	B 接続 (赤コード)	0.5 - Hi
アドレス V125 GK7	インジェクション	DC-CDI	A 接続 (A-④ 3 巻き)	0.5 - Hi
アドレス V125 GK9	インジェクション	フルトランジスタ	B 接続 (黒 / 青コード)	0.5 - Lo
			B 接続 (青コード)	0.5 - Hi

メーターの作動不良等に関しては、まずメーター本体説明書のトラブルシューティングをご覧ください。

©この取扱説明書は弊社ホームページに PDF データーでアップしております。

印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認ください。

